



議会だより

令和7年1月1日発行



たくさん作りました

定例議会

条例

精神障害者通院医療費自己負担分
町の支給制度廃止

2ページ

発議

核兵器禁止条約第3回締約国会議
オブザーバー参加を要請

2ページ

補正予算

11月2日の大雨災害
串掛林道土砂崩れ復旧

3ページ

シリーズ interview
この人に聞く

安全で安心して暮らせるまちを
海田警察署長 松浦 善之 さん

14ページ

発行：広島県海田町議会

編集：広報広聴調査特別委員会

〒736-8601

広島県安芸郡海田町南昭和町14-17

TEL FAX (082) 823-9218

E-mail gikaijim@town.kaita.lg.jp

ホームページ

海田町議会

検索

議会だより電子版はこちら



⑫月定例議会を12月3日から4日まで開きました。

条例の改正や補正予算などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。
(各議案の審議結果は3ページに掲載しています。)

条例改正

海田町精神障害者 通院医療費 支給制度の廃止

精神障がい者福祉制度を見直します。令和8年4月から海田町精神障害者通院医療費支給制度は廃止されますが、令和7年4月から相談支援体制の強化を図ります。

精神障がい者福祉制度を見直します。令和8年4月から海田町精神障害者通院医療費支給制度は廃止されますが、令和7年4月から相談支援体制の強化を図ります。

支援体制の強化

・障がい者基幹相談

支援センターの設置

令和7年4月に設置し、

地域における障がい者及び障がい児やその家族の相談・支援を行い、支援体制を充実させます。

・児童発達支援センター

の設置検討

地域における児童発達支援の中核的役割を担います。

反対討論

段階的な対応やしつかりとした対応策がないまま、助成を打ち切るとは、治療の自己中断による病状悪化や自殺の危険性が大きいと反対する。

玉川真里 議員

賛成討論

本人負担がないことで、治療が引き延ばされ、一人ひとりの状況に応じた適切な支援につながらないこともある。基幹相談支援センターの設置により、従前に比べ、はるかに精神障がい者行政が前進する。

下岡憲国 議員

反対討論

制度廃止は、患者の受診控えにつながる。弱者に冷たい町政である。制度を残した上で、基幹相談支援センター設置によるサポートを実現するべきだ。

佐中十九昭 議員

賛成討論

他の自立支援医療費制度には、収入に応じた自己負担があり、公平性の観点からも受益者負担を求めることはやむを得ない。

新谷知紀 議員

制度廃止による自己負担の変更

自己負担額 (負担上限月額)	生活保護 世帯	市町村民税非課税		市町村民税所得割		
		年収 80万円 以下	年収 80万円 超	33,000円未満 (年収約290～ 400万円未満)	33,000円以上235,000円未満 (年収約400～833万円未満)	235,000円以上 (年収約833万円 以上)
現在				0円		
制度廃止後 (R8.4.1 受診分～)	0円	2,500円	5,000円		10,000円	20,000円

発議

核兵器廃絶に向けて 意見書を提出

国に対して意見書を提出することを全会一致で決定しました。

内容

核廃絶の議論を前に進めるため、3月に予定される核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバーとして参加するよう強く要望する。

人事

教育委員の選任

任期満了に伴い、引き続き、教育委員会委員に大野美恵子さんを選任することに同意しました。任期は4年です。

補正予算

一般会計

総額2億4959万円

主な内容は
次のとおりです。

公共施設へ

通話録音装置導入

305万円

カスタマー・ハラスメント

対策の一環として、公共施設の電話機に通話録音装置を導入します。業務の範囲を超えた要求や不当な要求があった場合、記録を残すことで、組織として適切に対応し、そのような事象を未然に防

保育所・

児童クラブの整備

1億431万円

今後も増加が見込まれる
保育・児童クラブのニーズに



早く直します

災害復旧工事

1億300万円

11月2日の大雨により、法面崩落が起きた串掛林道の災害復旧工事を行います。また、同日の大雨により河川の土砂災害が起きた岡之谷川、国信川、楠木谷川の土砂浚渫を行います。

対応するため、保育所と児童クラブを、公募により整備します。開設は令和8年4月の予定です。

表決一覧

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名	白井政志	新谷知紀	石橋京子	西田誠一	玉川真里	小田久美子	大高下光信	大江康子	下岡憲国	宗像啓之	久留島元生	多田雄一	崎本広美	前田勝男	佐中十九昭	審議結果	討 論	掲載ページ
議案名																		
12月定例議会 精神障害者 通院医療費 支給条例の廃止	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	反対：玉川議員 賛成：下岡議員 反対：佐中議員 賛成：新谷議員	2

※桑原公治議長は、原則、採決に加わりません。

全会一致で可決した議案

議案名		ページ
12月定例議会	教育委員会委員の任命の同意…任期満了に伴い、引き続き大野美恵子さんを任命することに同意	2
	専決処分をした事件の承認…衆議院議員総選挙関連予算を専決処分により措置したことについて承認	—
	公の施設の指定管理者の指定…海田総合公園の指定管理者をボラーノグループ海田に決定	—
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正…議員の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ	—
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正…町長などの期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ	—
	職員の給与に関する条例の一部改正…人事院の給与勧告などを考慮して職員の給与を改定	—
	会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正…会計年度任用職員の報酬を改定	—
	令和6年度補正予算(一般会計、国民健康保険、介護保険、水道、下水道)	3
	核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書案…3月開催予定の「核兵器禁止条約第3回締約国会議」に日本がオブザーバーとして参加することを要望	2